

第2回都市自治体におけるツーリズム行政に関する研究会 論点メモ

1. ツーリズムの捉え方

- ツーリズムの意味
 - ・観光よりも広範な意味を持つツーリズム
 - ・地域のあらゆる資源をまちづくりに活用していくための手段
- ツーリズムの意義
 - ・地域の魅力や活力を高めること
 - ・余暇活動としての意義
 - ・社会的文化的意義
 - ・経済波及効果

2. 新型コロナウイルス感染症と観光

- 新型コロナウイルス感染症で明確になった意義
- 応急対応期の対応
 - ・各自治体の対応について
- With コロナ期の対応
 - ・観光事業者による感染予防 GL 作成への支援
 - ・自治体の観光版 BCP 整備

3. ツーリズム行政を考える視点

(1) 自治体の政策・マネジメントに関する視点

- 総合政策としての観光政策
 - ・部局横断的な連携、窓口一本化
- 観光政策の位置づけ
 - ・自治体は観光を手段に何がしたいのかということの明確化(地域の農業、工業、林業等)
 - ・経済波及効果の分析(自治体が観光の意義を自覚するためのツール)
 - ・観光に関わるデータ収集、モニタリング(自治体戦略部局、DMO)
 - ・観光者による地域への負の影響のコントロール
 - ・観光に対する住民の理解

- 広域連携
- 観光資源の磨き上げ（歴まち法、文化的景観、日本遺産等）

（２）ビジネス・事業としての観光に関する視点（公民連携）

- 観光資源の活用と持続可能な仕組みづくり
- 事業者支援
- 地域産業を支える手段としての観光
 - ・「地域商社」としての地元事業者（交通事業者等）
 - ・道の駅等

（３）公共空間のマネジメントにおける観光の視点

- 観光まちづくり
 - ・観光資源活用のあり方を合意形成していくプロセス
- 公共空間の整備
 - ・良好な景観の形成や歩行空間の整備
- 交通政策
- 観光資源の保全、メンテナンス